

# 高次脳機能障害者と家族のために



家族の問題への対処 - 専門家と地域の人々の  
医学博士 上田 敏

(公財) 日本リハビリテーション協会顧問

元東京大学医学部教授 いちごえ会顧問



社会に託す制度の活用

東川 悦子

NPO 法人日本脳外傷友の会理事長

障害者制度改革推進会議構成員他

**日 時** 2013年11月4日(月・振替休日)  
14:00~16:30(受付13:30)

**会 場** 小金井市福社会館5階  
小金井市中町4-15-14  
JR武蔵小金井駅南口徒歩5分

**会 費** 1000円(会員無料・当日入会無料)

お申し込み先 いちごえ会

ホームページ <http://ichigoe.org/>

メール [info@ichigoe.org](mailto:info@ichigoe.org)

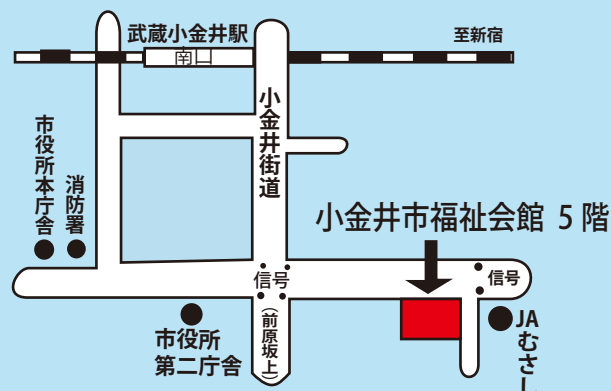
電話/FAX 042-401-0051

締め切り 11月1日

主催 高次脳機能障害者小金井友の会  
いちごえ会

後援 小金井市

後援 NPO 法人日本脳外傷友の会



# いちごえ会 第4回講演会開催にあたって

高次脳機能障害者の家族は「介護する私が亡くなった後」を一番気にしています。本人が一人で生きていくには、財産管理だけでなく、住まいの確保、治療、リハビリ、社会保障給付の利用など多くの問題があります。いっしょに考えてみませんか。

## 参加お申し込みは下記にどうぞ

☆ホームページからお申し込みは、専用フォームからお申し込みください。

<http://ichigoe.org/archives/762>

☆メールからお申し込みは、本紙の必要事項をご記載の上、お申し込みください。

[info@ichigoe.org](mailto:info@ichigoe.org)

☆FAXでお申し込みは、FAX番号 042-401-0051

お名前	ふりがな	会員	非会員
同伴者			
住所	〒		
電話			
Eメール			
種別	当事者／家族／医療職／行政職／福祉職／学生／支援団体		
通信欄			

## 高次脳機能障害は外見ではわかりません。

病気やけがなどで脳に損傷を受け、記憶・注意・計画性・理解力・言語などに障害が起き、日常生活や社会生活が困難になった状態です。

人によっていろいろな障害が種類、程度、さまざまな形に組み合わさって起こり、本人はもちろん家族も苦しんでいます。周囲の人々の理解や対応で生きやすくなり、症状の改善に繋がります。

**障害とともに、地域の人々とともに、生きるを目指しています。**

## いちごえ会の活動

講演会・交流会・相談会を開催、会報の発行、会員同志の情報交換・助け合い、社会の理解と支援を求めています。